

# 「SSTR(サンライズサンセットツーリング ラリー)2022」及び「Premium SSTR」への運営参画

団体名●池田ゼミナール・フィールド基礎演習／代表者名●池田幸應(人間科学部スポーツ学科・教授)

## はじめに

全国的に各地の地域環境を活かしたスポーツツーリズム策が実施されている。石川県の羽咋市、宝達志水町にかけての「千里浜海岸」では、世界的にも珍しく車両が砂浜を安全に走行することが可能である。この「千里浜」海岸において、その美しい海岸を夕日の光景を背景に走行し、日没(サンセット)とゴールとして、「SSTR(サンライズ サンセット ツーリング ラリー)」が実施されている。今回で第10回目となる「SSTR 2022」には、全国の全ての都道府県より9,353人(参加エントリー：10,678人)が参加した。また10月には、「Premium SSTR 2022」が設定され、「SSTR シンポジウム」も開催された。池田ゼミナール学生9名は、昨年度に引き続きモータースポーツツーリズム推進の視点から運営スタッフとしてSSTR 2022及びPremium SSTR 2022の全てに運営サポート参画し、スポーツ学科2年フィールド基礎演習プロジェクト9名もSSTR 2022に参画した。

## 活動内容

本年度も新型コロナウイルス感染拡大により、開催が危惧されたが、感染対策を講じ、SSTRの開催に至った。本事業には、スポーツ庁、観光庁、石川県に加え、羽咋市など10市町、複数法人が後援し、また、大塚製薬株式会社、本田技研工業株式会社、スズキ株式会社、他、50以上のモータースポーツ関連企業や各種団体も協賛、協力している日本最大規模のモータースポーツイベントである。北海道から沖縄県まで9,353人(平均年齢48.3歳、最年少17歳、最高齢85歳)がツーリングラリー規則に則って羽咋市「千里浜海岸」のゴールをめざした。この事業は、ゴール地点のみならず、全国からのライダーが奥能登全体にツーリング延長しており、その地域への関係人口促進への期待は大きい。

学生たちは、事前に事業に関する詳細説明を受けた上で、下記について、当日、会場設営、受付、誘導、新型コロナウイルス感染防止対応、後片付け等、多岐にわたって運営サポートを行った。

●「SSTR 2022」：5/21(土)～5/29(日)各日9:00～20:00、石川県羽咋市「千里浜レストハウス」周辺海岸の特設会場

●「Premium SSTR 2022」：10/1(土)、2(日)、石川県羽咋市「千里浜レストハウス」周辺海岸の特設会場、七尾市和倉温泉「あえの風」、石川県地場産業振興センター



夕日に佇むライダーたち



ライダー受付での学生たちの様子

## 成果、結果の考察

今回の10年に及ぶ「SSTR」の取り組みに対して、日本ライダーズフォーラムが「第10回スポーツ振興賞」観光庁長官賞を受賞した。SSTRは「ライダーの歓びを社会の歓びに～SSTRによる地域、社会の活性化～」というテーマで、スポーツツーリズムとしての地域経済の活性化、ライダーによる環境保護活動の実践、宿泊などを通じた地域経済への貢献への期待が、高く評価されたものである。このような社会的評価のある全国規模のモータースポーツイベントに学生たちが直接、運営参画することで、その運営方法について実践的に学ぶことができ、主体性やコミュニケーション力、実践力等を向上させたものと考えられる。

特に初めて開催した「SSTR シンポジウム」については、池田ゼミナール4年次学生9名が企画から事前準備、当日運営の全てに積極的に取り組む、SSTR運営委員会からも非常に高い評価をいただいた。

## 今後の課題、展望

既に「SSTR 2023」の実施概要が公開されており、サポートの輪が更に広がることが望まれる。なお、ゼミナール4年次学生も、今後、社会人として可能な限り本事業運営に参加予定である。